

# 東広島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

---

## の報告

---

### 目次

1 東広島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要	2
2 温室効果ガス排出量	3
3 令和4年度の温室効果ガス分野別排出量	4
4 取組内容（S-TOWNプロジェクト：S）	5
4 取組内容（S-TOWNプロジェクト：T/O）	6
4 取組内容（S-TOWNプロジェクト：W/N）	7

# 1 東広島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要

- ▶ 東広島市では、市民・事業者と協働し、温暖化対策を推進するため、地球温暖化対策推進法に基づき、東広島市地球温暖化対策実行計画を策定し、目標や方針を示しています。
- ▶ 区域施策編とは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づき、本市全域における温室効果ガスの排出量削減の計画を定めたもので、市民生活や事業活動、市民の移動、廃棄物の処理等に伴い排出される温室効果ガス排出量削減等の推進、森林等の吸収源の保全、強化について定めています。



## 東広島市地球温暖化対策実行計画

【計画期間】  
令和 6(2024)年度 ～ 令和 12(2030)年度



令和 6(2024)年 3 月



※本編については、市ホームページをご覧ください。

(ホーム>組織から探す>生活環境部>環境先進都市推進課>温暖化対策>各種計画>東広島市地球温暖化対策実行計画の改訂について)

ホームページURL

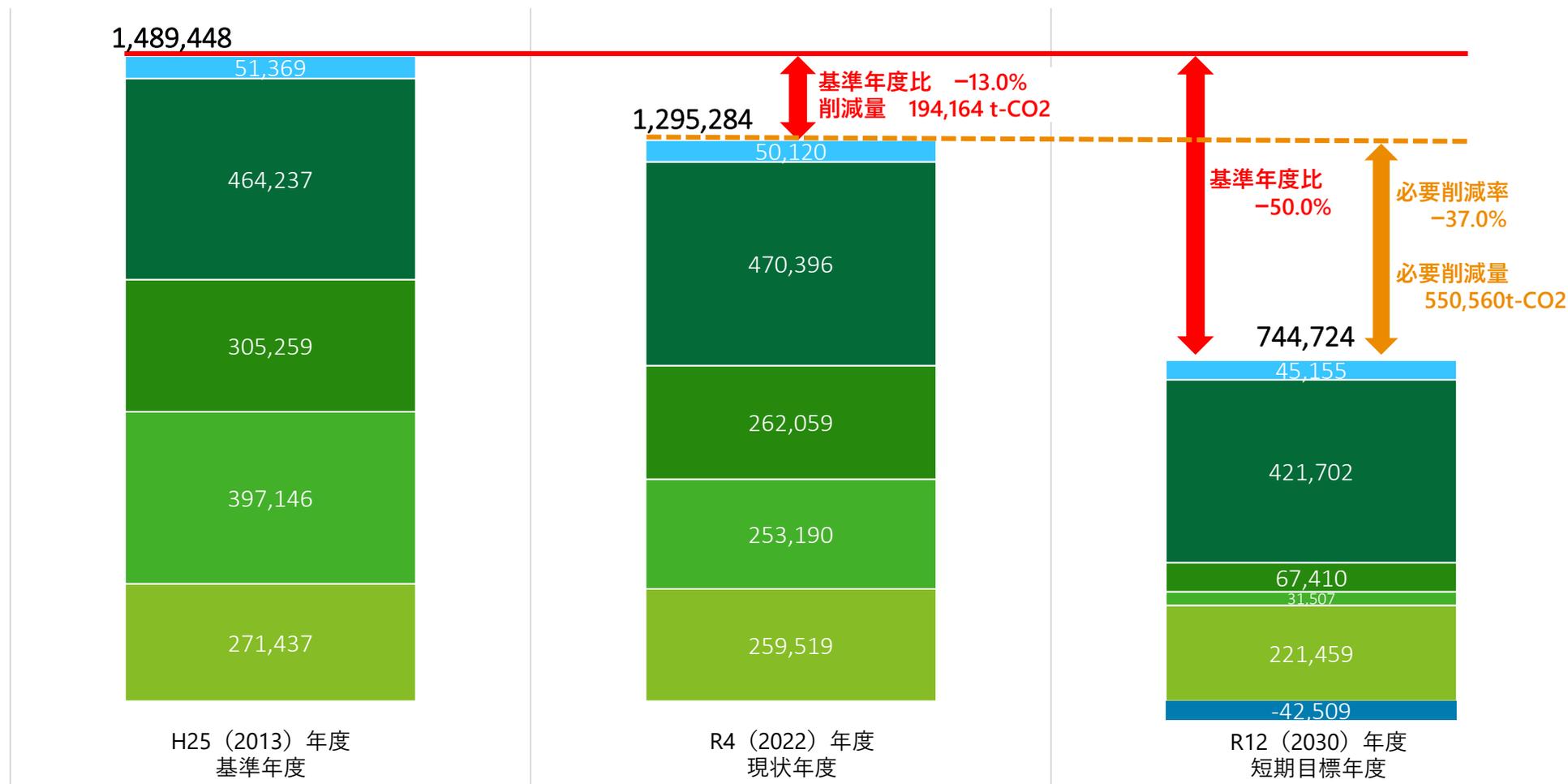
<https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/seikatsukankyo/2/ondannkataisaku/keikaku/42388.html>

東広島市地球温暖化対策実行計画（表紙）

## 2 令和4年度の温室効果ガス排出量

### ■ 温室効果ガス排出量削減の進捗状況 (t-CO<sub>2</sub>)

■ 産業部門 ■ 業務その他部門(※1) ■ 家庭部門 ■ 運輸部門 ■ エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス(※2) ■ 森林吸収



※1 事務所・ビル、商業・サービス業施設のほか、他のいずれの部門にも帰属しないエネルギー消費に伴う部門

※2 農業分野や廃棄物分野等から排出されるCO<sub>2</sub>以外（メタンなど）の温室効果ガス

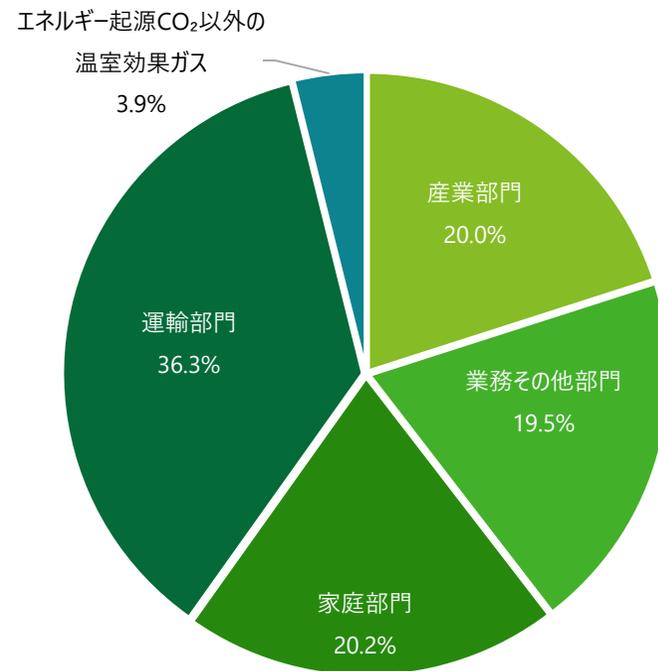
### 3 令和4年度の温室効果ガス分野別排出量

■ R4年度部門・分野別の温室効果ガス排出量と基準年度対比

部門	分野	R4排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	構成比	基準年度排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	基準年度比
産業部門		<b>259,519</b>	<b>20.0%</b>	<b>271,437</b>	<b>-4%</b>
	製造業	225,085	17.4%	229,914	-2%
	建設業・鉱業	10,598	0.8%	14,234	-26%
	農林水産業	23,836	1.8%	27,289	-13%
業務その他部門		<b>253,190</b>	<b>19.5%</b>	<b>397,146</b>	<b>-36%</b>
家庭部門		<b>262,059</b>	<b>20.2%</b>	<b>305,259</b>	<b>-14%</b>
運輸部門		<b>470,396</b>	<b>36.3%</b>	<b>464,237</b>	<b>+1%</b>
	自動車	397,475	30.7%	361,881	+10%
	鉄道	61,000	4.7%	89,316	-32%
	船舶	11,921	0.9%	13,040	-9%
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 以外の 温室効果ガス		<b>50,120</b>	<b>3.9%</b>	<b>51,369</b>	<b>-2%</b>
合計		<b>1,295,284</b>	<b>100%</b>	<b>1,489,448</b>	<b>-13%</b>

※集積回路製造業1社を除く

■ 部門・分野別の温室効果ガス排出構成比  
(R4 (2022) 年度)



## 4 取組内容（S-TOWNプロジェクト：S）

	取組	内容	進捗
S ①	スマートハウス化支援補助	市内の住宅へ蓄電池・エネファーム・V2Hの設置を行う個人に補助を行う	2015年に開始し、2024年度まで蓄電池 1,094件、エネファーム 56件、V2H 20件の補助を実施 (2025年度見込み 蓄電池 107件)
S ①	住宅向け太陽光発電設備設置補助	市内の住宅へ太陽光設置にかかる費用の補助を行う	二酸化炭素排出抑制対策事業補助金を活用し、これまで109件（607kW）の補助を実施
S ②	事業者向け省エネ・再エネ設備導入の補助	市内事業者が社屋に高効率照明や高効率空調、太陽光発電設備などを設置する費用の補助を行う	二酸化炭素排出抑制対策事業補助金を活用し、これまで 太陽光発電設備 10件（657kW）、蓄電池 3件、高効率照明 15件、高効率空調 32件の補助を実施 ※R7年度以降は照明・空調の補助を終了
S ⑥	市有施設での再エネ発電実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポテンシャル調査を実施し、PV設置が可能な建物について、計画的に導入</li> <li>ESCO事業により、小中学校や地域センターへPVを設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用電力量が一定程度あるなど、PV設置によりコストに見合う施設候補をリスト化し、実施スキームを検討中。現在、13か所、741.2kWのPV設置を実施（ESCO事業は不含）</li> <li>ESCO事業によりR7年度は、龍王小、下黒瀬小、磯松中、西条学校給食センターの空調やPV設置等を実施し、これまでに14か所、225.78kWのPV設置を実施</li> </ul>

## 4 取組内容（S-TOWNプロジェクト：T/O）

	取組	内容	進捗
T ④	環境学習拠点の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>東広島スマートエネルギー(株)のHP内に環境学習サイトを公開</li> <li>エコパークの工場見学において、触れる地球を活用した環境学習を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習サイトのアクセス総数 1,473</li> <li>工場見学 27団体</li> </ul>
T ⑥	SDGs未来都市東広島パートナー制度の推進	SDGsに積極的に取り組んでいる企業や団体等の登録を行い、活動を通じてSDGsを推進する	SDGs未来都市東広島推進パートナー登録数 438団体
O ①	食品残渣リサイクルループの構築	市域のスーパー等の飲食料品等小売業者がたい肥化に取組む費用について補助を行う	R4年度から現在までに5か所に対して補助を行い、130トンのたい肥化を実施
O (新)	資源循環の推進	市域の保育所や小学校へミズコンポストを設置し、資源循環の体験学習を行う	現在13か所に設置 各施設 年4回の環境学習を実施

## 4 取組内容（S-TOWNプロジェクト：W/N）

	取組	内容	進捗
W ②	市民主体の里山活用促進	環境教育、ヘルスケア、獣害対策等の副次的効果を期待した森林の利活用を促進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくりパートナー協定締結数 6件（R5年度開始）</li> <li>里山マイスター研修実施 総参加者数 434人（2015年度開始）</li> </ul>
		木質資源の地域内循環の促進を図るため、市民主体の森林の利活用による森林整備を推進	2015年度に開始し、2024年までに薪ストーブ 111件、ペレットストーブ 23件の補助を実施
N ①	次世代自動車の普及（公用車）	公用車を次世代自動車へ更新する	一般公用車台数 210台に対し、電気自動車 10台、燃料電池自動車 1台、ハイブリッド自動車 113台を導入
N ⑤	環境価値(J-クレジット)の啓発	市内で生み出される創エネ等の環境価値を積み上げると共に、市内事業者等に対し制度の周知、浸透を図る。 市民等が太陽光発電設備や省エネ設備等を導入したことによるCO2削減量および森林整備によるCO2吸収量をクレジット化する。	蓄電池のクレジットについて、スマートハウス化補助金を交付した方を対象として、R7年度は80件の方に新たに参加いただいた。 森林・蓄電池ともに、クレジット化を進めるためのモニタリング委託費が物価高で高騰している事が分かり、かかる費用と資産としての価値のバランスを注視していく。